MOBILE COMMUNICATION SYSTEM

Veröffentlichungsnr. (Sek.)

JP8289348

Veröffentlichungsdatum:

1996-11-01

Erfinder:

EBINUMA KAZUE

Anmelder:

NEC CORP

Veröffentlichungsnummer:

JP8289348

Aktenzeichen:

(EPIDOS-INPADOC-normiert)

JP19950109190 19950411

Prioritätsaktenzeichen:

(EPIDOS-INPADOC-normiert)

Klassifikationssymbol (IPC):

H04Q7/16; H04M3/42; H04M3/42; H04M11/00

Klassifikationssymbol (EC):

Korrespondierende Patentschriften JP2760311B2

Bibliographische Daten

PURPOSE: To facilitate the transmission and reception of data between a paging base station and a pager station by making the base station notify the pager station of reception of the transferred data and then sending the data to the pager station or storing them at the base station in accordance with the data storage capacity of the pager station.

CONSTITUTION: When the communication data including the identification information Ea that specifies a data main body Ec and a pager station A are sent to a paging base station B, the station B decides the data storage capacity of the station A by a decision means Ca. If the station A can receive the main body Ec, the station B instructs a transmitter 7 to send the main body Ec after the incoming notification Eb that is generated by an incoming notification generation means Db. If the station A is unable to receive the main body Ec, the station B instructs a data storage means E to store the communication data. At the same time, an outgoing control means Da instructs the transmitter 7 to send the notification Eb. In such a constitution, the reception of the communication data is always known. Then the main body Ec can be easily received and also can be transmitted in a short time despite its large size.

Daten aus der esp@cenet Datenbank -- 12

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-289348

(43)公開日 平成8年(1996)11月1日

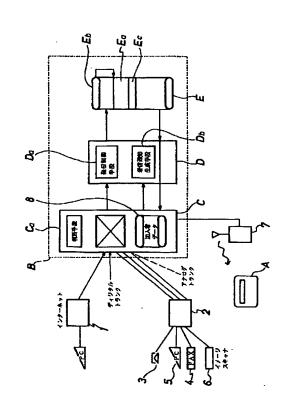
(51) Int.Cl. 6		識別記号	識別記号		FΙ		技術表示箇所		
H04Q	7/16			H 0 4 B	7/26	1031	Ĺ		
H 0 4 M 3/42				H04M	3/42	J			
		102				102			
	11/00	3 0 2			11/00	302			
				審査調	請求 有	請求項の数2	FD	(全 6 頁)	
(21)出願番号		特願平7 -109190		(71)出願/	(71)出願人 000004237 日本電気株式会社				
(22)出顧日		平成7年(1995)4月11日			東京都	港区芝五丁目7都	針1号		
			·			和枝 港区芝五丁目7番1号 日本電気株 内			
				(74)代理)	人 弁理 士	: 原田 信市			

(54) 【発明の名称】 移動通信システム

(57)【要約】

【目的】 特定のページャ宛に、メッセージ等の通信データが着信していることを通知し、かつ、該ページャのデータ蓄積容量に応じて、通信データを直接該ページャに送信するか、ページング基地局に蓄積して必要なときに取り出すかを選択できるようにする。

【構成】 データ本体Ec及びページャAを特定する識別情報Eaを含む通信データがページング基地局Bに転送されたとき、その識別情報Eaで特定されるページャAが、データ本体Ecを受信できるデータ蓄積容量を有するか否かを判断する判断手段Caと、通信データを蓄積するデータ蓄積手段Eと、着信通知Ebを生成する着信通知生成手段Dbと、上記判断の結果、ページャAがデータ本体Ecを受信できれば、着信通知に続けてデータ本体Ecをできれば、着信通知に続けてデータ本体EcをそのページャAに送信させ、受信できなければ、通信データをデータ蓄積手段Eに蓄積させるとともに、着信通知をページャAに送信させる送信制御手段Daとを有している。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 データ蓄積容量の異なる複数のページャ と、これらのページャとの間で通信路を確立するページ ング基地局とを有する移動通信システムにおいて、デー タ本体及びページャを特定する識別情報を含む通信デー タが上記ページング基地局に転送されたときには、その 識別情報で特定されるページャが、データ本体を受信で きるデータ蓄積容量を有するか否かを判断する判断手段 と、通信データを識別情報毎に区分して蓄積するデータ 蓄積手段と、通信データが着信していることを示す着信 通知を生成する着信通知生成手段と、上記判断の結果、 **該ページャがデータ本体を受信できるものであれば、上** 記着信通知に続けてデータ本体をそのページャに送信 し、そのページャがデータ本体を受信できるものでなけ れば、通信データをデータ蓄積手段に蓄積させるととも に、上記着信通知を上記ページャに送信する送信制御手 段とをページング基地局に設けたことを特徴とする移動 通信システム。

【請求項2】 ページング基地局には専用網を介してコンピュータネットワークが接続されている請求項1記載の移動通信システム。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、たとえばポケットベル等からなる複数のページャと、これらのページャとの間で通信路を確立するページング基地局とを有する移動通信システムに関する。

[0002]

【従来の技術】従来、この種の移動通信システムとして 特開平4-79654号公報に示すような、ポケットベルを利用した音声蓄積メール装置がある。

【0003】この装置は、音声によるメッセージをいったん蓄積しておいて、該メッセージが届いていることをページャの所持者に通知し、所持者が都合の良いときに電話等で音声メッセージを確認できるようにするものである。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】ところで、従来のページャとしては、送信された音声メッセージをある程度蓄積できる型式のものや、たんに定型のメッセージを表示させる型式のもの等、各種型式のものが混在して使用されている。

【0005】しかしながら上記の音声蓄積メール装置では、メッセージの通知先のページャが音声メッセージを蓄積できる場合であっても、該ページャに音声データを送信することができないという欠点がある。

【0006】そこで本発明は、特定のページャ宛に、メッセージ等の通信データが着信していることを通知するとともに、該ページャのデータ蓄積容量に応じて、通信データを直接該ページャに送信するか、ページング基地

局にいったん蓄積して必要なときに該通信データを取り 出すかを選択できる移動通信システムの提供を目的とす る。

[0007]

【課題を解決するための手段】本発明は、ページング基地局Bが次の手段を有している。データ本体Ec及が上でいる。データを特定する識別情報Eaを含む通信データが追いない。その識とされたときには、その識を目れたときには、その識をできるでもない。では、では、なないでは、では、なないでは、は、上記判断の結果、は、上記信させるとともに、とのできるでのページャムに送信させるとのであれば、上記信させるとともに、上記着信通知を上記ページャムに送信させると信制御を上記であるととに送信させる送信制御を上記ページャムに送信させる送信制御をしまる。

【〇〇〇8】この場合、ページング基地局Bに専用網を介してコンピュータネットワークが接続されているものが好ましい。

[0009]

【作用】本発明の作用は次の通りである。データ本体及びページャを特定する識別情報を含む通信データがページング基地局に転送されると、その識別情報で特定されるページャが、データ本体を受信できるデータ蓄積容量を有するか否かが判断される。

【0010】そして、通信データが着信している旨を示す着信通知が生成されるとともに、上記判断の結果、上記ページャがデータ本体を受信できるものであれば、この着信通知に続けて、データ本体が該ページャに送信される。

【0011】また、上記ページャがデータ本体を受信できるものでなければ、データ蓄積手段に通信データが蓄積されるとともに、上記着信通知が該ページャに送信される。

[0012]

【実施例】本発明の一実施例について図面を参照して説明する。本発明の移動通信システムは、ポケットベル等からなる複数のページャAと、これらのページャAとの間で通信路を確立するページング基地局Bとを有しており、このページング基地局Bが、ページング交換機Cと、データ管理装置Dと、データ蓄積装置Eとで構成されている。

【0013】ページャAは、簡単なメッセージを表示する機能だけを有するもの、ある程度のデータを蓄積するデータ蓄積容量のメモリを有するもの等様々な型式のものがあり、本システムには、これらの様々な型式のペー

ジャが混在している。

【 O O 1 4 】ページング交換機 C は、その入力側のデジダルトランクにインターネット等のコンピュータネットワーク 1 が専用網を介して接続されており、アナログトランクには、加入者線交換機 2 を介して電話3.ファクシミリ4.パーソナルコンピュータ5.イメージスキャナ6等の固定端末装置が接続されている。また、出力側には、ページャムに後述する通信データや着信通知等を送信する送信機 7 が接続されている。

【0015】通信データは、音声データ、テキストデータ、グラフィックデータ等のデータ本体Ecと、ページャAを特定できる識別番号Eaとを含んでいるものである。

【0016】上記ページング交換機Cの内部には、ページャAの加入者に関する加入者データベース8が構築されている。

【OO17】加入者データは、上記識別番号Ea、ページャAを所持している加入者の氏名、通信データを蓄積する旨の契約の有無、ページャA毎のデータ蓄積容量等を含むものである。

【0018】このようなページング交換機は、以下の機能を有している。

①通信データが着信している旨を示す後述する着信通知 を、識別番号 E a で特定されるページャAに送信する機 能。

【0019】②通信データがページング基地局Bに転送されたときには、その転送された通信データに含まれる識別番号Eaで特定されるページャAが、データ本体Ecを受信できるデータ蓄積容量を有するか否かを判断する判断手段Caとしての機能。

【0020】具体的には、上記データベース8に格納されているページャA毎のデータ蓄積容量を参照して、データ本体Ecを蓄積できる容量を有するものかどうかを判断する。

【OO21】データ管理装置Dは、以下の機能を有している。

①ページング交換機 C から送出された通信データが着信していることを示す着信通知として管理番号 E b を生成する着信通知生成手段 D b としての機能。

【0022】着信通知としては、上記管理番号Ebの他、各ページャAの有するメッセージ表示機能を利用するようにしてもよい。

【0023】②ページャAがデータ本体を受信できるものであれば、上記管理番号Ebに続けてデータ本体EcをそのページャAに送信し、そのページャAがデータ本体Ecを受信できるものでなければ、通信データをデータ蓄積手段としてのデータ蓄積装置Eに蓄積させるとともに、管理番号Ebを上記ページャAに送信する送信制御手段Daとしての機能。

【0024】データ蓄積装置Eは、データ管理装置Dに

よって付された管理番号 E b に基づいて、その通信データを、識別番号 E a 毎に区分されたデータメモリ(図示しない)に記憶しておくものである。

【0025】以上の構成からなる移動通信システムの動作について説明する。

ステップ1(図中、S1と略記する。以下同様):通信 データの受信を待機し、その受信があればステップ2に 進む。

【0026】ステップ2:通信データに含まれる識別番号Eaで特定されるページャAの、データ本体Ecを受信できるデータ蓄積容量の有無を判断する。ここで、データ本体Ecを受信できるデータ蓄積容量がないと判断した場合にはステップ3に進み、データ本体Ecを受信できるデータ蓄積容量があると判断した場合には、ステップ5′に進む。

【OO27】ステップ3:受信した通信データをデータ管理装置Dに送出する。

【0028】ステップ4:ページング交換機Cのデータベース8を検索し、通信データを蓄積する契約をしているか否かを判断し、契約をしていればステップ5に進み、契約をしていなければステップ6に進んで受信した通信データを破棄する。

【0029】ステップ5:通信データ毎に、これらに対応する管理番号Ebを生成して付与するとともに、これらをデータ蓄積装置Eに蓄積する。

ステップ5′:通信データ毎に、これらに対応する管理 番号Ebを生成して付与する。

【0030】ステップフ:データ管理装置Dで付与した管理番号Ebに続けてデータ本体Ecを、識別情報Eaで特定されるページャAに送信する。

【0031】次に、ページャの所持者が、データ蓄積装置 Eに蓄積されている通信データを受信する場合の動作について説明する。

【0032】ページャAの所持者は、データ本体Ecが 当該ページャAに受信されていない場合には、通信デー タのダウンロードをすることになるが、そのダウンロー ドには次の2通りの方法がある。

【0033】 <ページャの所持者がページング交換機にアクセスする方法>管理番号 E b を受信したページャ A の所持者は、たとえばパーソナルコンピュータ 5 等によってページング交換機 C にアクセスし、上記ページャ A の識別番号 E a 、暗証番号、受信した管理番号 E b を入力する。

【0034】ページング交換機Cは、入力された暗証番号が正しいか否かをチェックし、暗証番号が正しければ、データ管理装置Dに管理番号Ebと識別情報Eaを送信する。また、誤った暗証番号が続けて所定の回数入力されたときには、アクセス自体を拒絶して終了する。【0035】データ管理装置Dは、入力された管理番号Ebに基づいて、データ蓄積装置Eから識別番号Eaを

取り出し、ページャAの識別番号と照合する。この照合の結果、識別番号が正しければ転送データのダウンロードを実行する。

【0036】<登録されているパーソナルコンピュータにページング交換機から通信データを送信する方法>

【0037】パーソナルコンピュータ5にページング交換機Cから通信データを送信する場合には、ページング交換機C内のデータベース8に、通信データを受信するパーソナルコンピュータ5に接続する電話番号やパスワード等を予め登録しておく。

【0038】そして、ページャAの所持者が着信通知を受け取るのとほぼ同時に、ページング交換機C内のデータベース8に登録しておいた送信先のパーソナルコンピュータ5にデータを送信する。

【 O O 3 9 】なお、本発明は前述した実施例に限るものではなく、その要旨の範囲内で様々に変形実施が可能である。

【0040】上記実施例では、データ本体を受信できるデータ蓄積容量のあるページャAに対しては、通信データを直接送信するようにしていたが、このようなデータ蓄積容量を有するページャAの場合であっても、通信データをいったんデータ蓄積装置Eに蓄積しておいて、パーソナルコンピュータ5等で別に受信するようにしてもよい。

【0041】ステップ5′において通信データに管理番号を付与する際、データ蓄積装置 Eに通信データを蓄積する場合と異なる体系の管理番号を付ければ、データ本体が該ページャAに受信しているか否かを判断しやすい。

[0042]

【発明の効果】請求項1,2記載の発明によれば、通信データを受信した場合には、ページャのデータ蓄積容量に拘らず、着信通知を該ページャに行うので、何時でも通信データが到着したことを知ることができる。

【0043】また、ページャにデータ本体を受信できるデータ蓄積容量がある場合には、該ページャにデータ本体を直接送信できるので、いちいち他の固定端末装置を使用する必要がなく、データ本体の受信を容易に行うことができる。

【0044】請求項2記載の発明によれば、ページング 交換機には専用網を介してコンピュータネットワークが 接続されているので、公衆網のトラフィックが多いとき であっても、サイズの大きい通信データを短時間で送信 することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例としての移動通信システムの 構成を示すブロック図である。

【図2】この移動通信システムの動作を示すフローチャートである。

【符号の説明】

A ページャ

B ページング基地局

Ca 判断手段

C b 着信通知生成手段

Da 送信制御手段

E データ蓄積手段

Ea 識別情報

Eb 着信通知

